



『 お薬を安全に服用していただくために 』

お薬が追加になって眠気が強く現れた事はありませんか？

血圧の薬や精神安定剤・睡眠導入剤、総合感冒薬やアレルギーの薬などふらつきや眠気を引き起こすものがあります。これらの薬を2種類以上服用している場合は、副作用が強く現れることがあります。このため、『飲み合わせ』は重要です。

薬と薬だけではなく、食品や健康食品と相性が悪いものもあります。薬によって飲み合わせは何通りもあるため、薬剤師の説明を聞き注意しましょう。飲み合わせを把握するためにも、「お薬手帳」を活用してください。

お薬手帳は、複数の病院から出ている薬の飲み合わせを確認する際に大事なツールとなるので、1病院に1冊ではなく『1個人に1冊でまとめる』ことが重要です。

また、薬局やドラッグストアで購入し使用した一般用医薬品・健康食品の名称やアレルギーや副作用が出た薬等の記載をしておく、さらに活用度が高まります。

お薬手帳を常に携帯しておく、災害などの緊急時の対応にも発揮してくれるので、お出かけの際は是非、お薬手帳を携帯する習慣をつけましょう。



鹿児島厚生連病院

薬剤科主査 石神誠子